

上信越自動車道 片山トンネル(下り線) 補強工事

割掛参考図

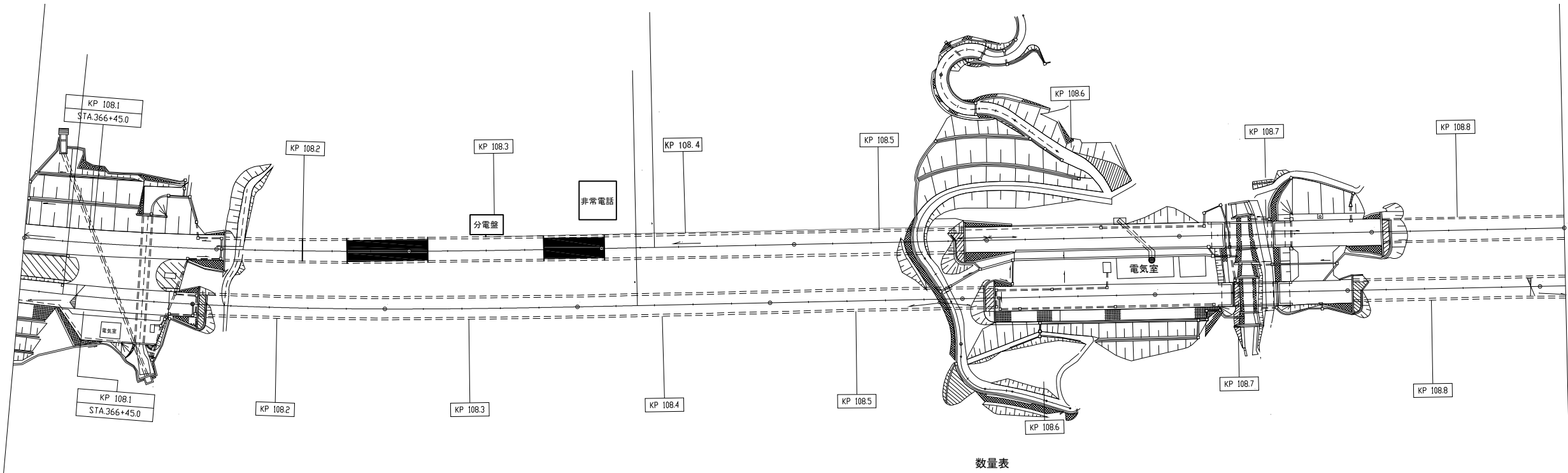
令和 8 年 7 月

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社
関 東 支 社 長 野 工 事 事 務 所

工事用電力設備費(1)
(片山TN(下り線)電気室)

S=1/2500

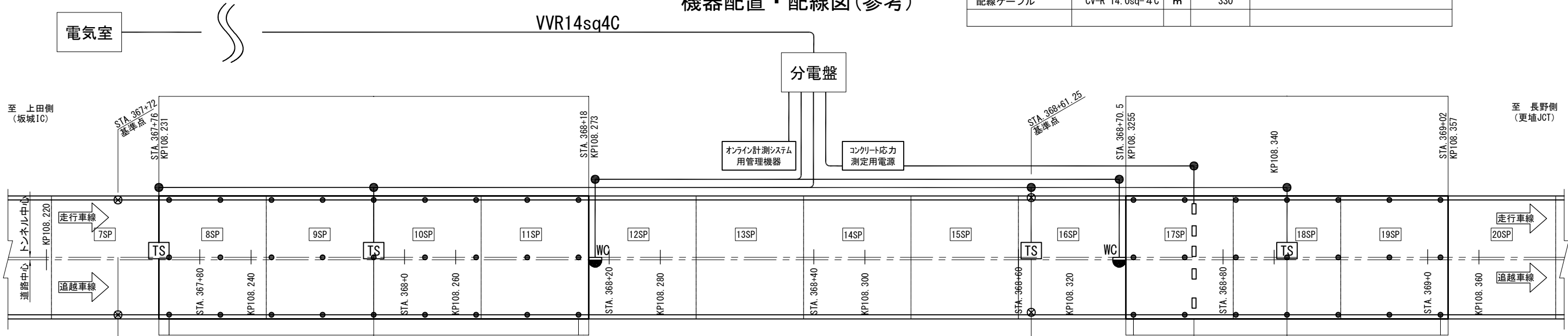
割掛対象参考図



数量表

項目	規格・形状	単位	数量	備考
配線ケーブル	CV-R 14.0sq-4C	m	330	

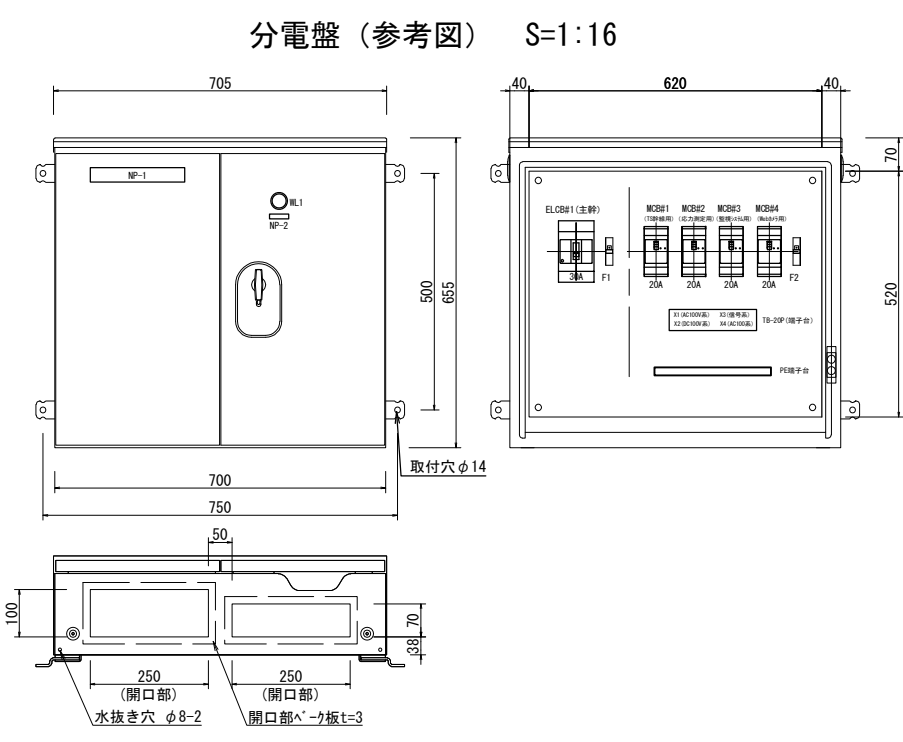
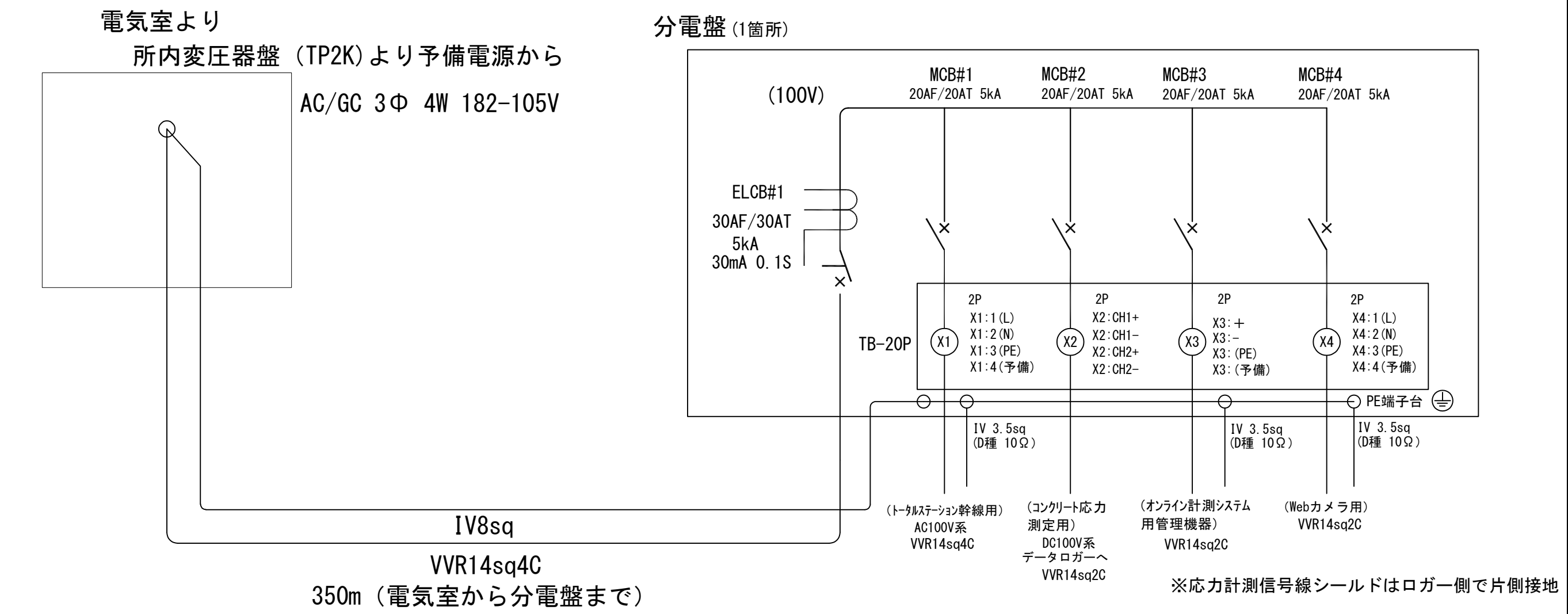
機器配置・配線図(参考)



機器・負荷名	R-N	S-N	T-N
トータルステーション①	0.25		
トータルステーション②		0.25	
トータルステーション③			0.25
トータルステーション④	0.25		
コンクリート応力測定用電源			0.1
オンライン計測システム用管理機器		0.25	
Webカメラ①			0.03
Webカメラ②			0.03
合計 (kVA)	0.5	0.5	0.41
総合計 (kVA)	台数		

- SP 覆エスパン
- インバート新設区間
- Webカメラ
- TS トータルステーション

上信越自動車道 片山トンネル(下り線)補強工事			
図面の種類	割掛対象参考図 工事用電力設備図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 7
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



数量表				
項 目	規格・形状	単位	数 量	備 考
VVRケーブル	14.0sq-4C	m	350.0m	屋外及び坑内分電盤まで
	14.0sq-4C	m	200.0m	各種機器までの合計
	14.0sq-2C	m	100.0m	各種機器までの合計
IVケーブル	8.0sq	m	350.0m	屋外及び坑内分電盤まで
	3.5sq	m	300.0m	各種機器から分電盤までの合計
分電盤	100V	基	1	工事対象区間に挟まれた対象区間外を想定
分電盤内	ELCB	2P 30AF/30AT 5kW 30mA0.1S	1	
	MCB	2P 20AF/20AT 5kW	4	
	端子台	20P	1	
	PE端子台		1	

負荷回路	機器・負荷名	電圧	電流	定格出力	台数	出力計	入力計	備考
X1	計測工 トータルステーション	100V	2.5A	1.0kW	4台	1.0kW		データロガー1台含む
X2	コンクリート応力測定用電源	100V	1.0A	0.1kW	1台	0.1kW		データロガー1台
X3	計測データ管理用機器	100V	2.5A	0.25kW	1式	0.25kW		MOXA及びルーター
X4	Webカメラ	100V	0.3A	0.06kw	2台	0.06kw		
				合計		1.41kW	1.41kVA	

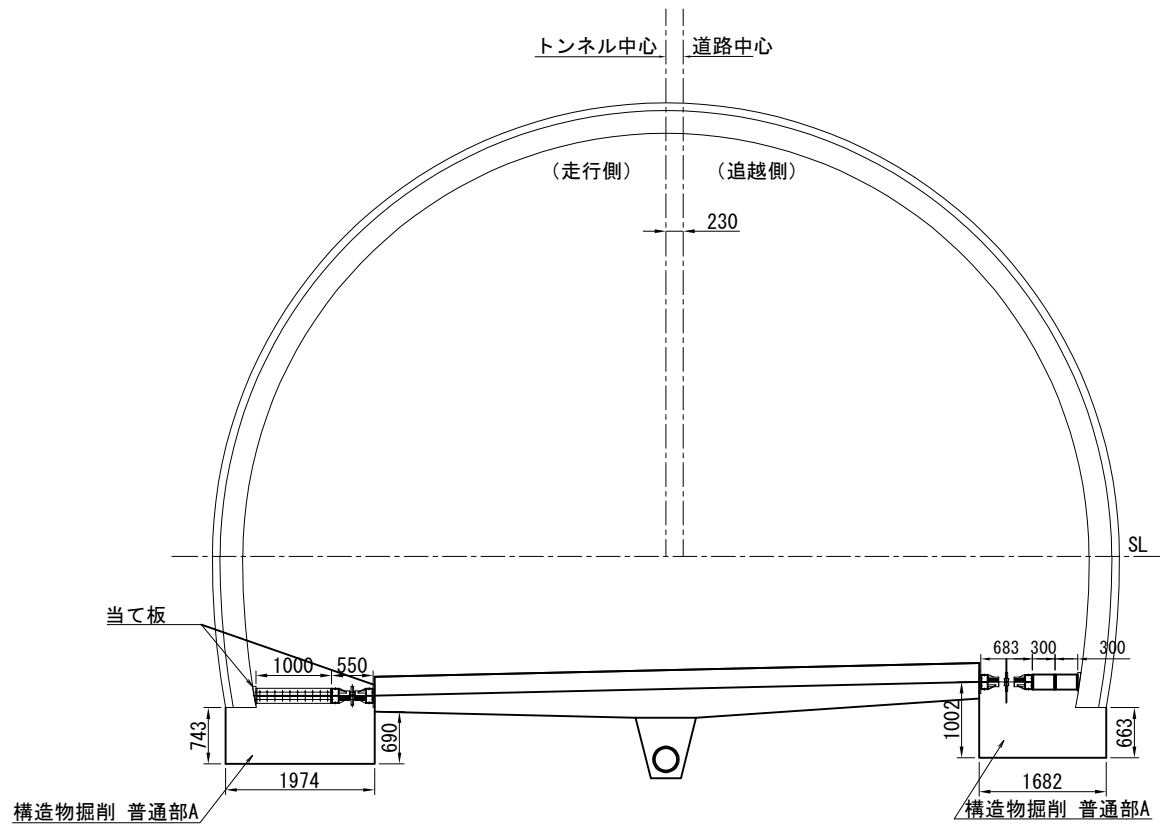
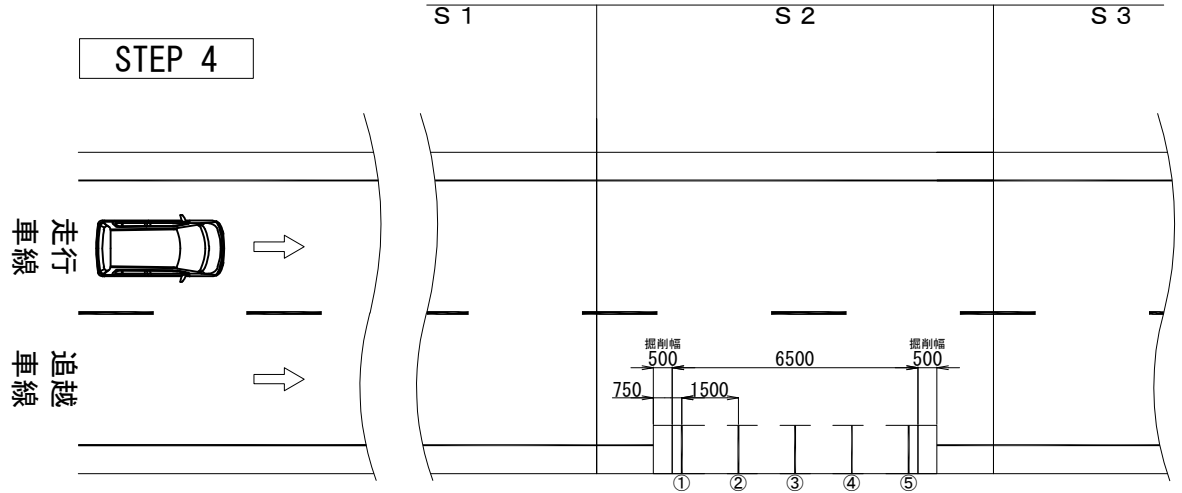
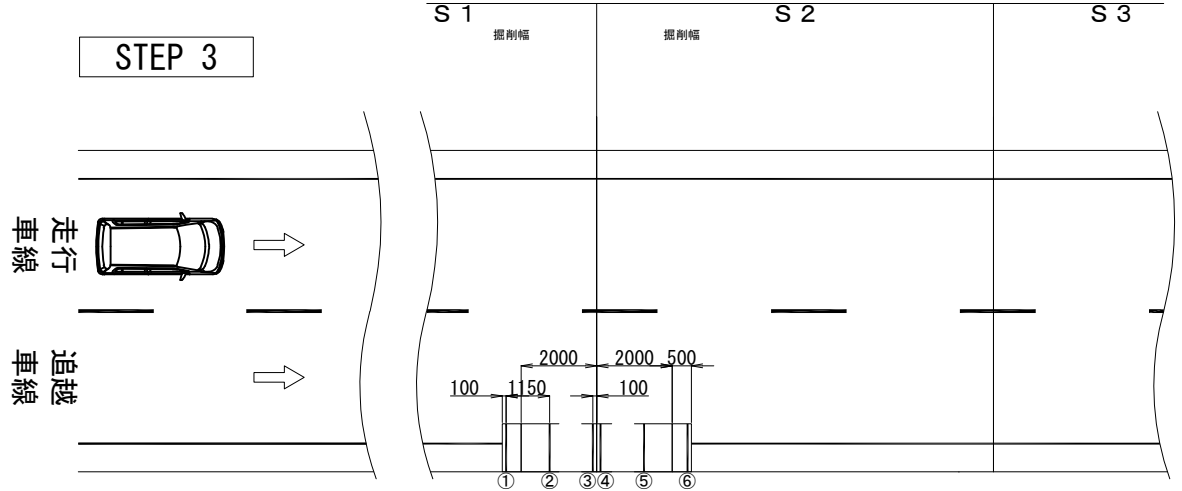
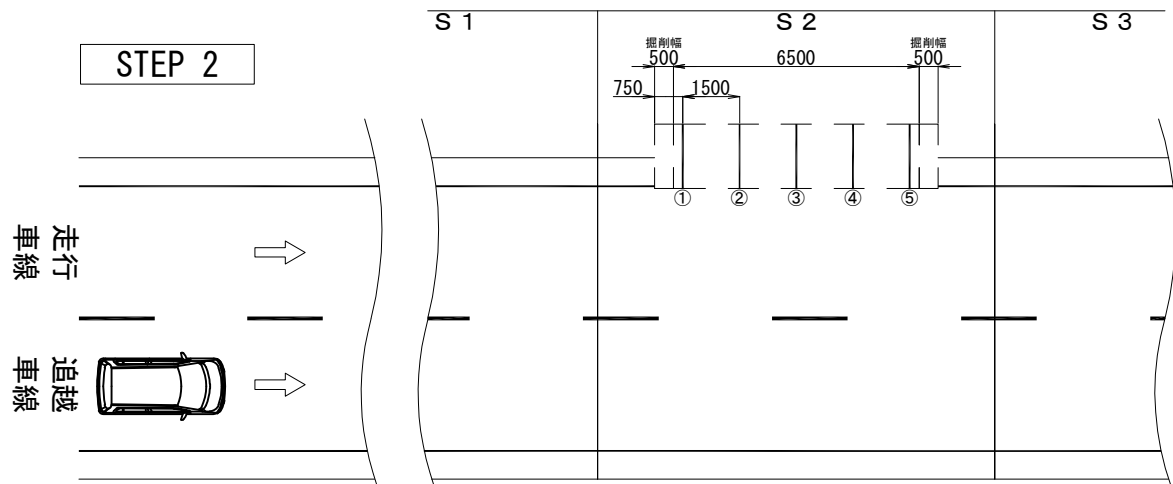
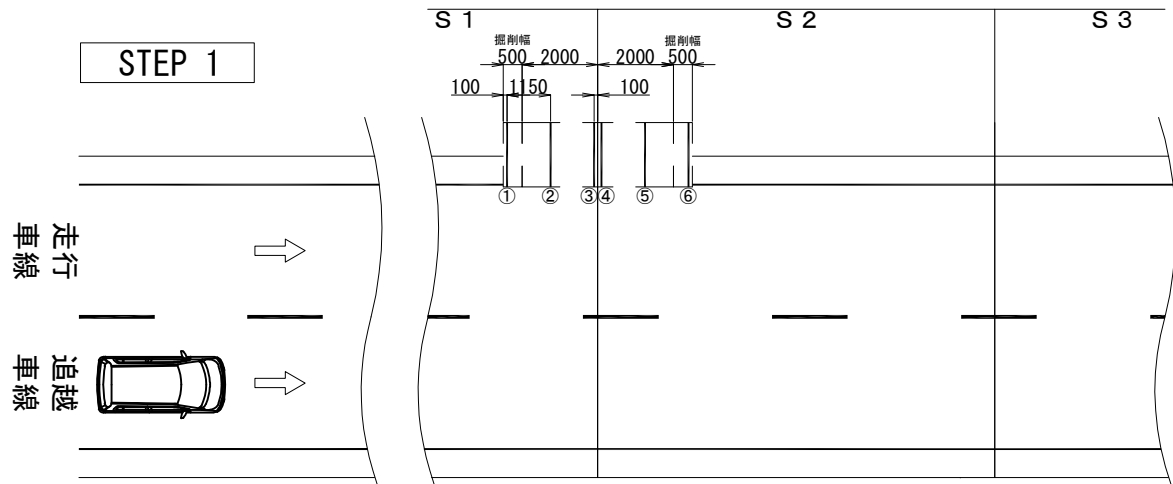
※工事期間中で最も負荷容量が大きくなる条件を示す。
※動力盤内の回路は上記のとおり想定するが、実際の使用機械の負荷容量、工程などの諸条件を考慮するものとする。

上信越自動車道 片山トンネル(下り線)補強工事			
図面の種類	割掛対象参考図 工事用電力設備図		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 7
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

ストラットエ図 (1)

(インバート施工時)

平面図



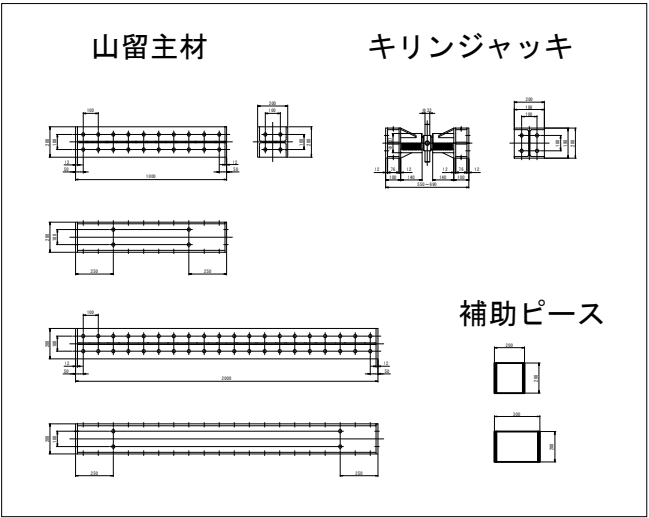
資材数量表 (覆工受台施工時)

(1箇所当り)

項目名称	種 別	単位	数 量	単位質量 (kg)	総質量	摘 要
山留主材	20HA L=1.0m	本	6.0	55.0	330.0	
キリンジャッキ	20シリーズ	本	6.0	60.0	360.0	
補助ピース	20D-3 L=300mm	個	12	17.0	204.0	
当て板	300×300×20mm	枚	12	1.1	13.2	木製

※覆工側の当て板は、現地状況に合わせ応力が均質となる形状に加工する事。

※鋼材総質量：894kg

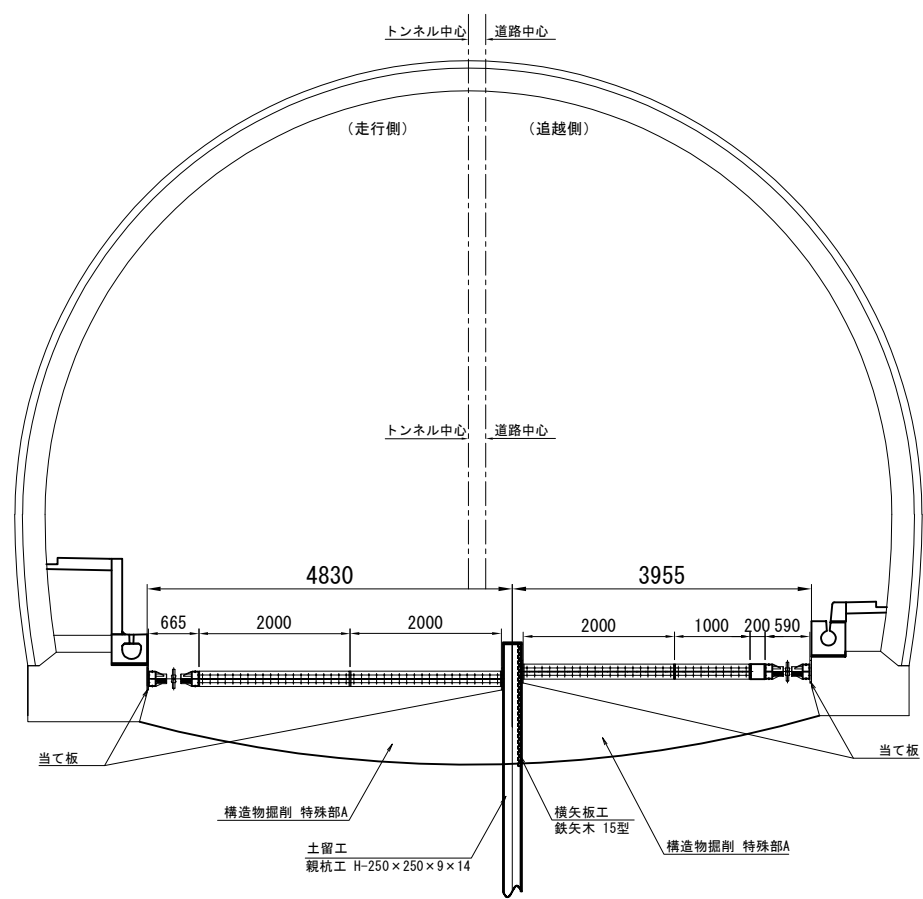
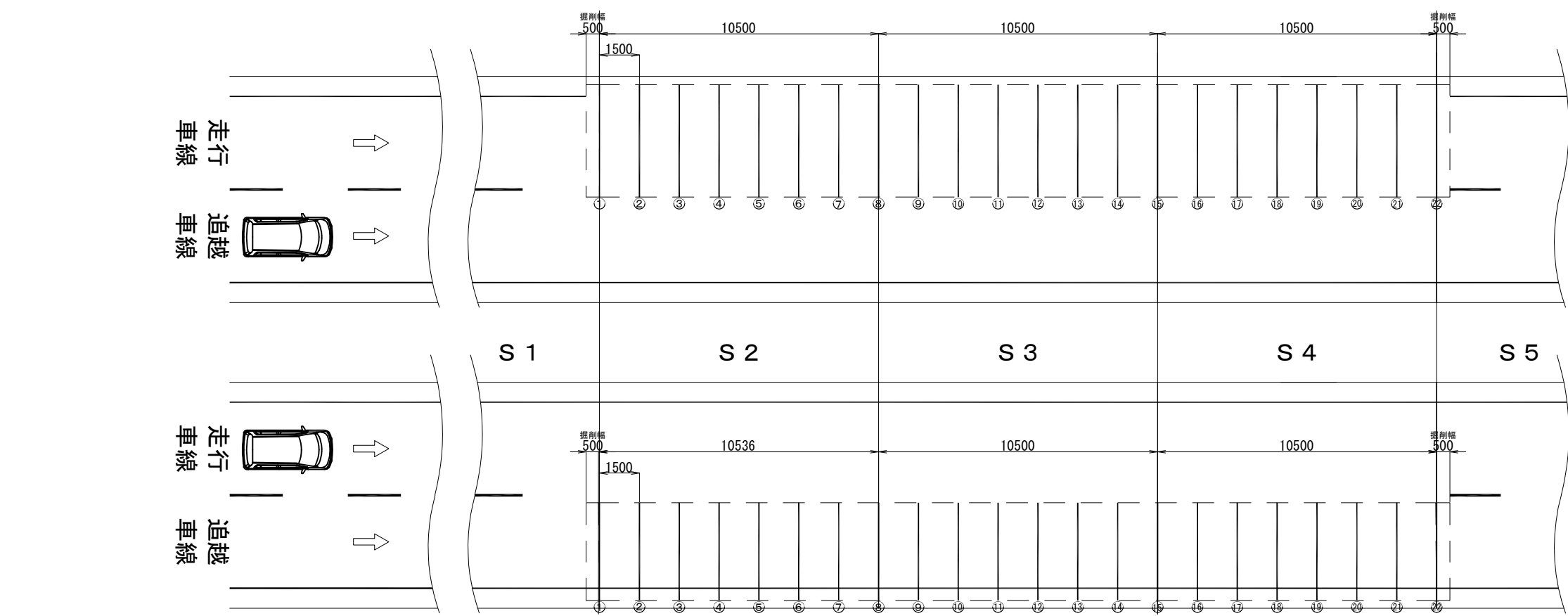


上信越自動車道 片山トンネル(下り線)補強工事			
図面の種類	割掛参考図面 ストラットエ図 (1)		
縮 尺	図示	図面番号	3 / 7
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

ストラット工図 (1)

(インバート施工時)

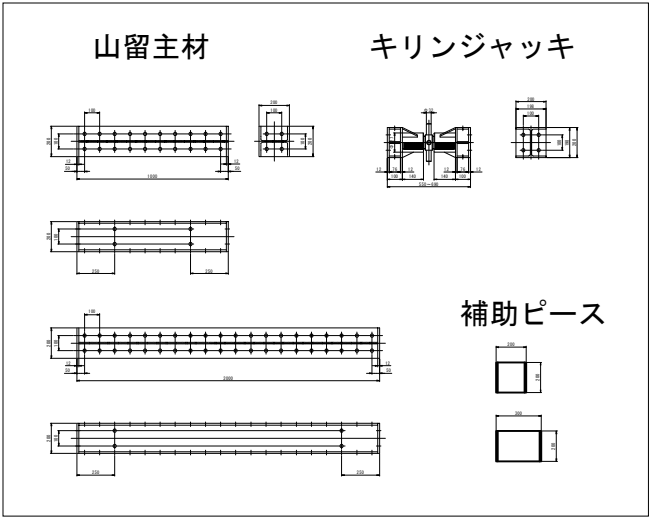
平面図



資材数量表(インバート施工時) (L=31.5m当り)

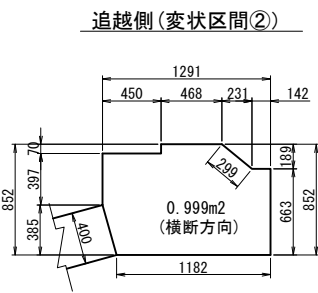
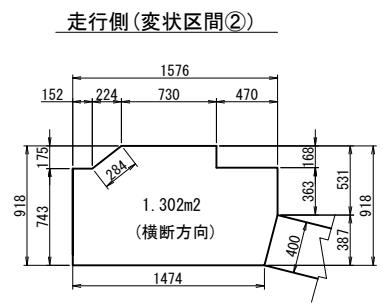
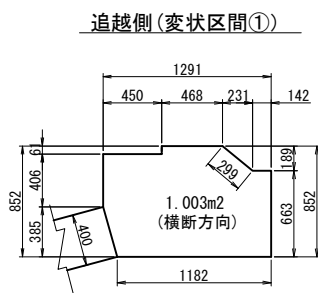
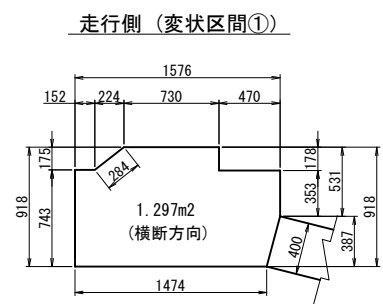
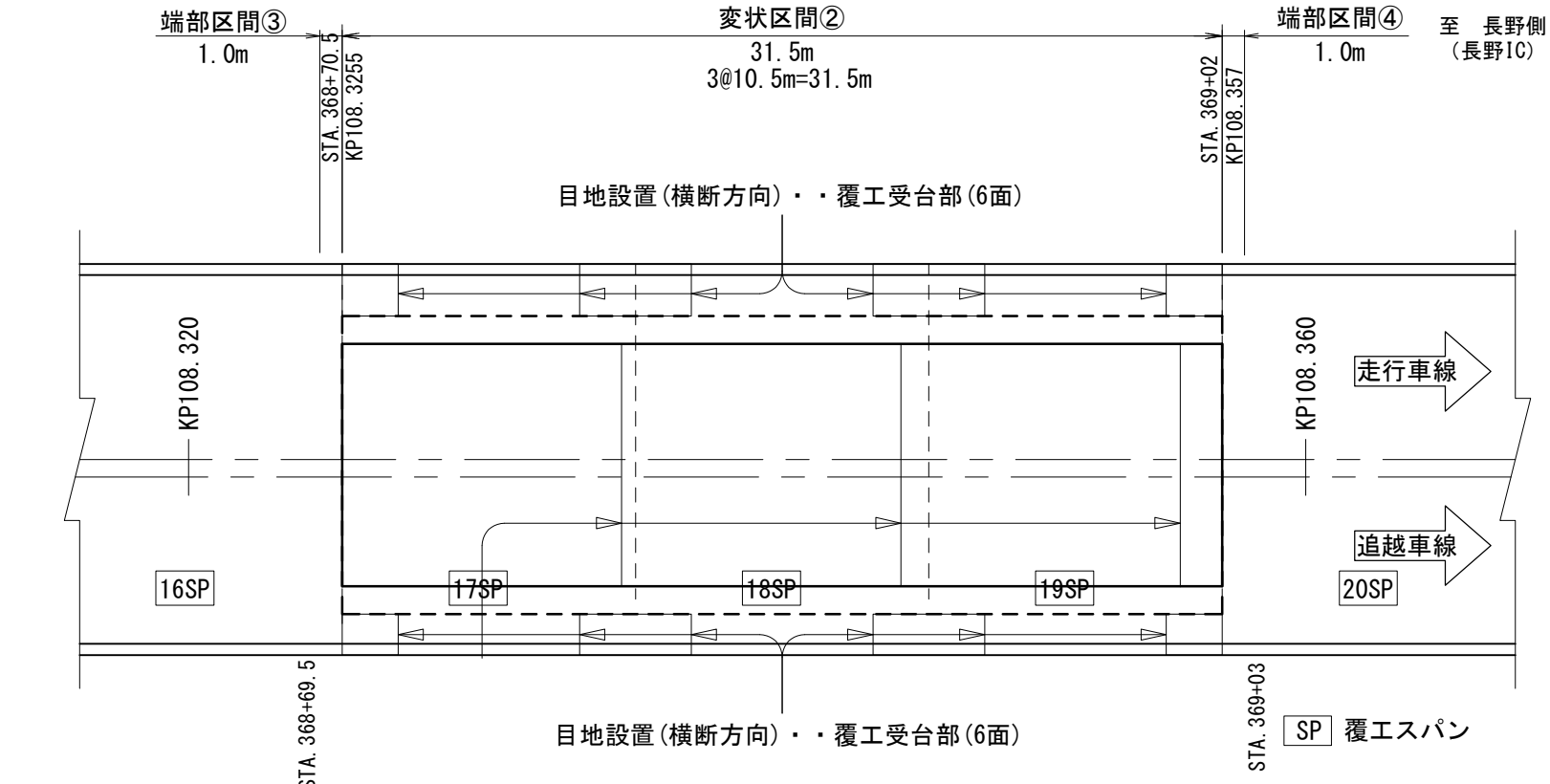
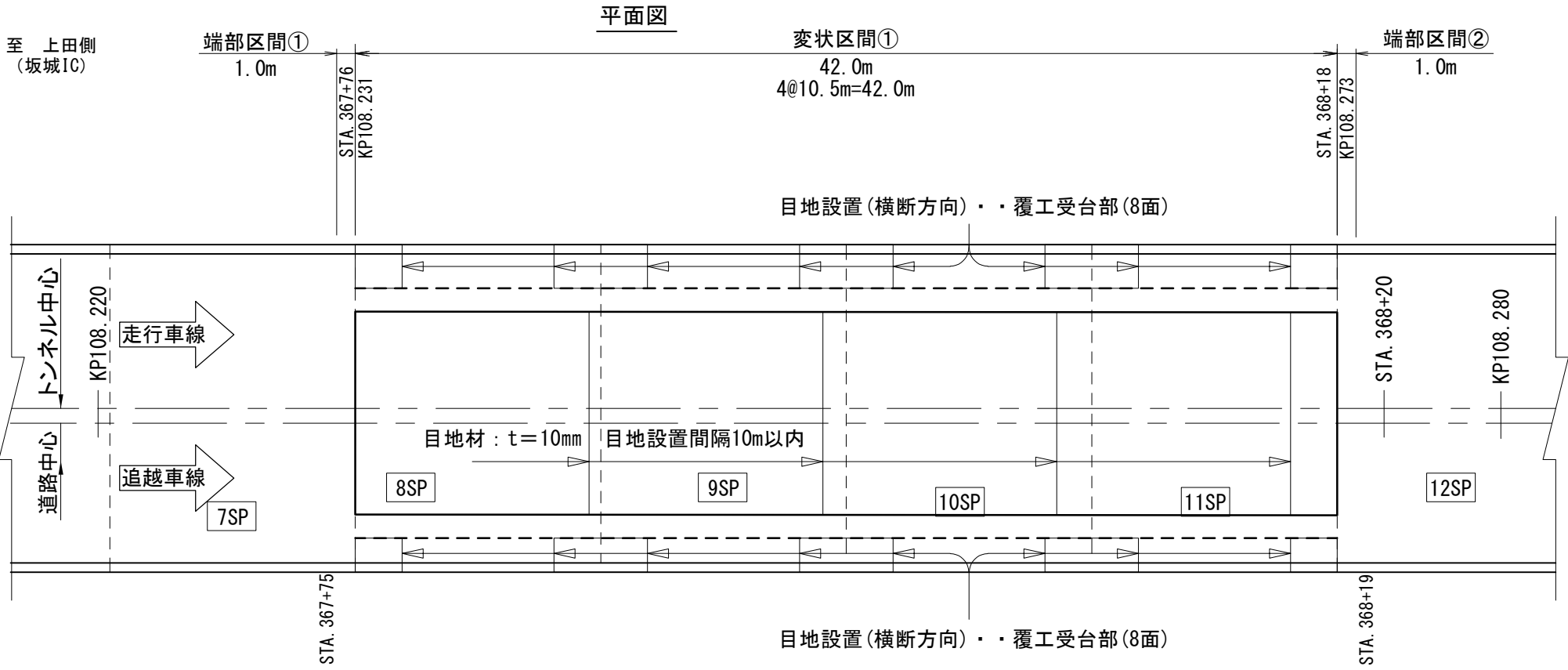
項目名称	種 別	単位	数 量	単位質量(kg)	総質量	摘 要
山留主材	20HA L=1.0m	本	22	55.0	1210.0	
山留主材	20HA L=2.0m	本	44	55.0	4840.0	
キリンジャッキ	20シリーズ	本	22	60.0	1320.0	
補助ピース	20D-2 L=200mm	個	22	17.0	374.0	
当て板	300×300×20mm	枚	44	1.1	48.4	木製

※鋼材総質量：7,744kg



上信越自動車道 片山トンネル(下り線)補強工事			
図面の種類	割掛参考図面 ストラット工図 (2)		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 7
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

コンクリート目地材設置



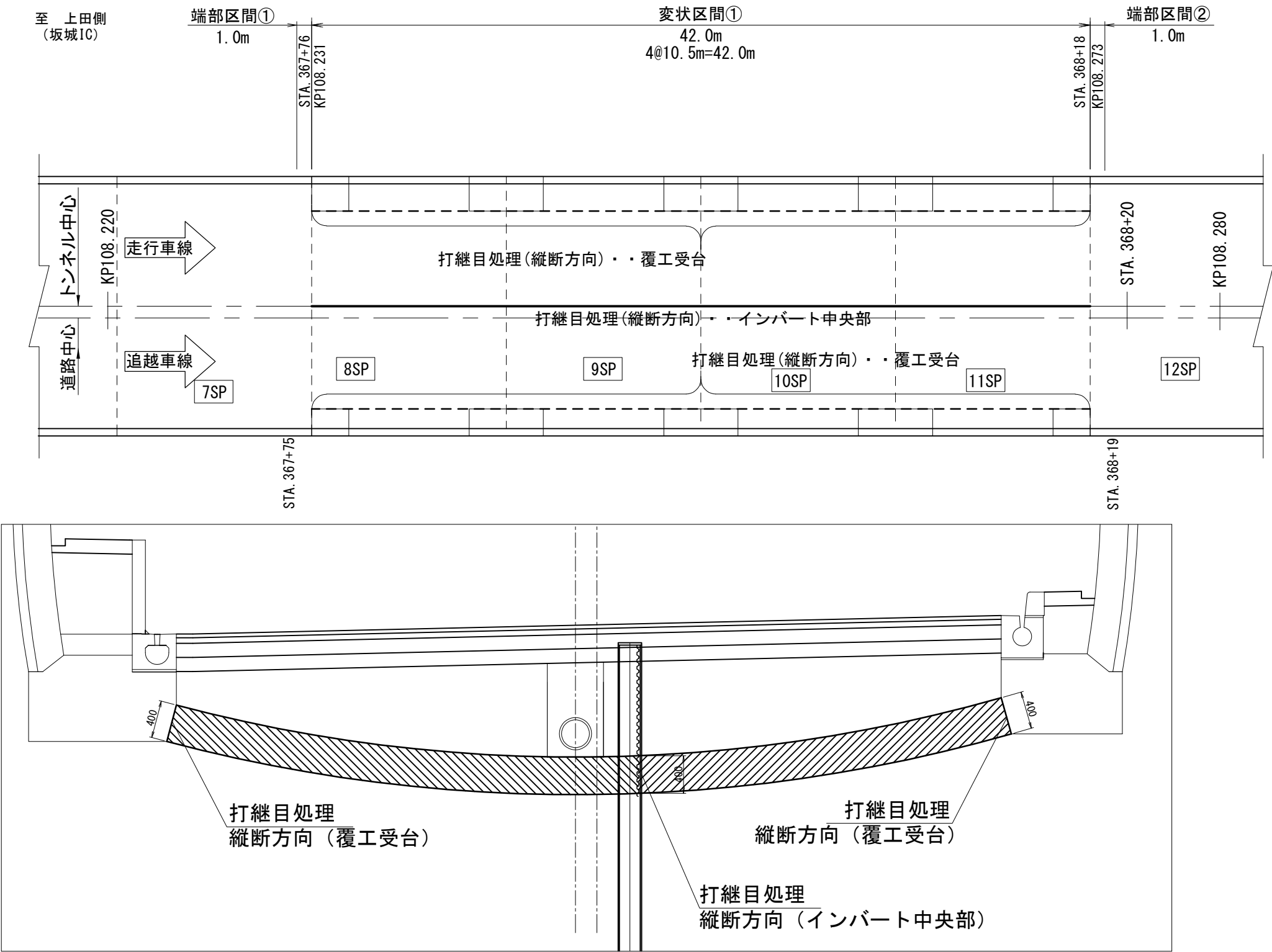
目地材数量表			
区 間	目地箇所数	計算式【合計面積】	設置面積(m2)
変状区間①	4 (INV)	4 × 3.599	14.4
	16 (受台)	16 × ((1.297+1.003)/2)	18.4
変状区間②	3 (INV)	3 × 3.599	10.8
	12 (受台)	12 × ((1.302+0.999)/2)	13.8
合計【面積】			57.4

※1 変状区間①②(インバート厚t=400mm) 走行+追越断面積: 3.599m2
※2 図中の目地位置は、適当に10m間隔で示したものであり数量確認のため。

上信越自動車道 片山トンネル(下り線) 補強工事			
図面の種類	割掛け参考図 コンクリート目地材		
縮 尺	—	図面番号	5 / 7
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

変状区間①

平面図

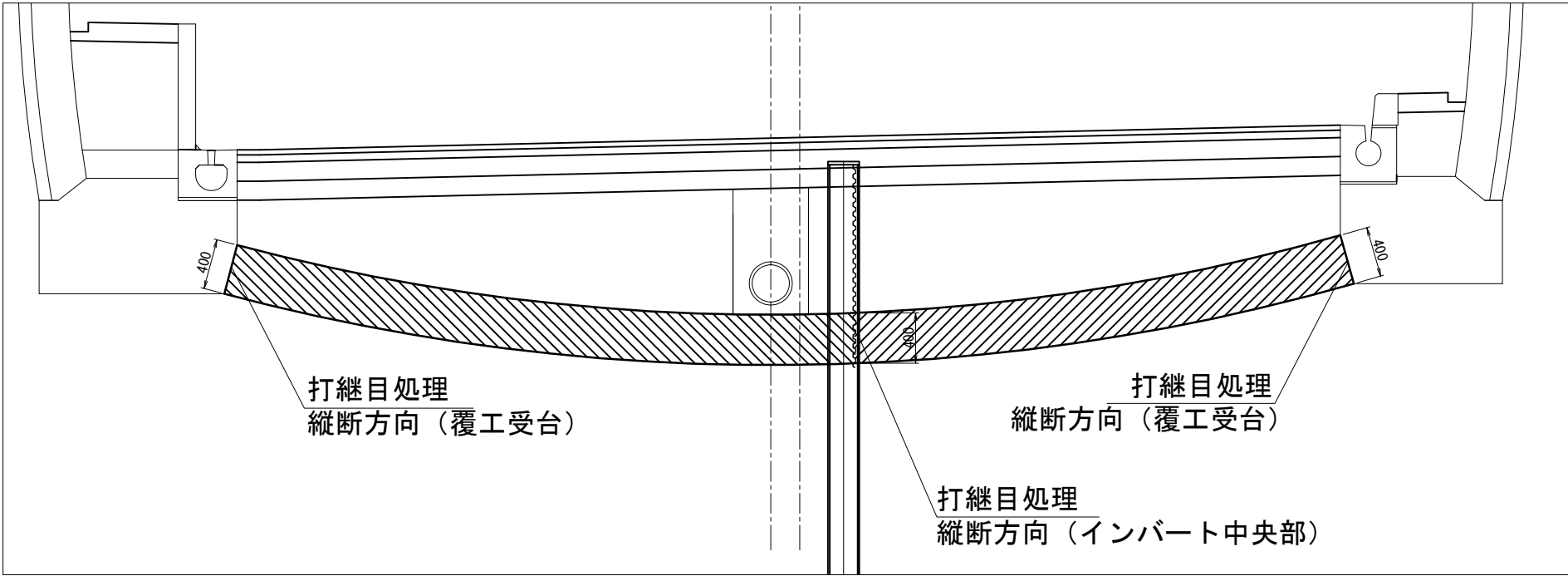
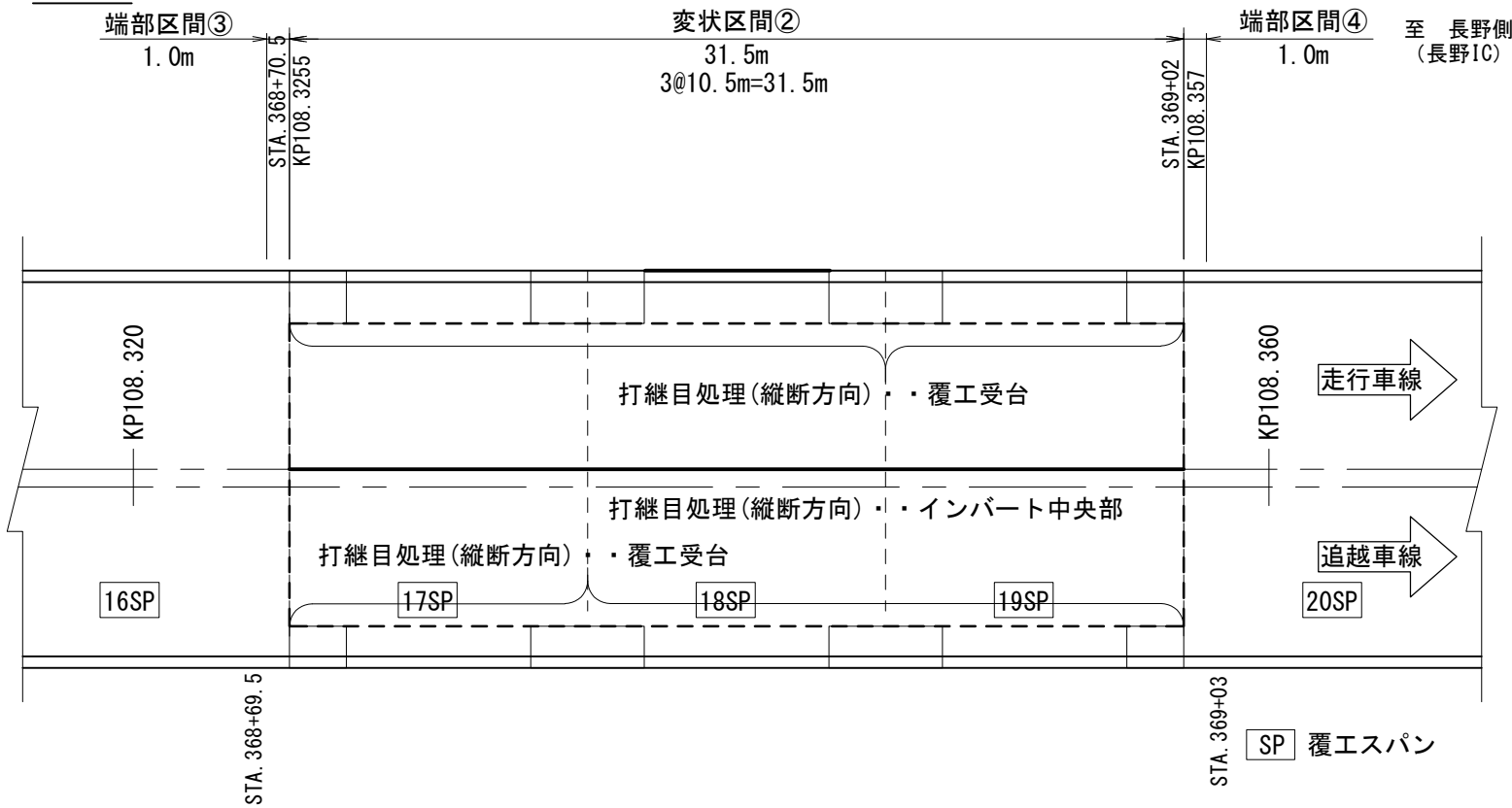


打継目処理数量表(変状区間①)			
区 間	目地箇所数	計算式【合計面積】	設置面積(m2)
縦断方向(覆工受台)	42	$42 \times 0.400 \times 2$	33.6
縦断方向(インバート)	42	42×0.400	16.8
		合計	50.4

上信越自動車道 片山トンネル(下り線) 補強工事			
図面の種類	割掛け参考図 コンクリート目地材		
縮 尺	—	図面番号	6 / 7
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

変状区間②

平面図



打継目処理数量表(変状区間②)			
区 間	目地箇所数	計算式	設置面積(m2)
縦断方向(覆工受台)	31.5	$31.5 \times 0.400 \times 2$	25.2
縦断方向(インバート)	31.5	31.5×0.400	12.6
		合計	37.8

上信越自動車道 片山トンネル(下り線) 補強工事			
図面の種類	割掛け参考図 コンクリート目地材		
縮 尺	—	図面番号	7 / 7
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		